

切り取り線

【御法を守り、我が身を敬むべし】
 ○法令遵守はもとより道徳規範に基づいて経営者自ら先頭に立ち行動すると共に、その内容を全従業員に徹底する。
 ○短期の利益追及にとらわれず、創業の精神に立ち返り、経営判断を行う。
 【浮利にはしり軽進すべからず】
 ○「売ればよい、儲かったらよい」だけではなく、確かな品質、環境にやさしく、社会的弱者も利用できる、消費者に益となる製品やサービスの提供を通じて、社会に貢献することを第一とする。
 ○消費者が必要な情報を企業自ら率先して、平易な形で提供する。

B

山折り線①

【始末してきばる】
 ○無駄を省くと共に、技術やマネジメントの革新を通じてコストダウンを図り、納得できる価格で提供し、自らも又適正利潤を獲得する。
 【三方よし】
 ○グローバル化した企業活動の影響が広範囲に及ぶことを認識し、広く世界の様々な人々への配慮を欠かさない。
 ○企業は地域社会に根ざした存在であることを再認識し、地域社会の要請に積極的に関与していく。
 ○M&Aは短期の利ざやや稼ぎを目的としてはならず、あくまで社会への貢献、またその発展を前提として行う。

C

山折り線②

【人財】
 ○従業員は社会からの預かりものであり、安易な人員削減や不安定な労働条件での雇用は行わない。
 ○従業員が社会への貢献ができるよう教育・育成と、その環境づくりに努める。
 【陰徳あれば陽報あり】
 ○慈善事業やメセナ活動に対しては見返りを期待せず、自らの利益の一时的増減にとらわれず継続する。
 金銭的支援に留まらず、ノウハウの提供や従業員等の自発的参加を推進する。

D

上方発 企業の社会貢献宣言
 —— 志高き企業経営を目指して ——
 社団法人 関西経済同友会 平成十九年五月十四日

A

切り取り線

【奉公】
 ○企業は社会的存在であり、社会に貢献することがその本分であることを再確認する。
 ○社会貢献活動を通じて、多種多様な人々との交流を促進し、異なる文明、文化、知識との触発により、自らの成長を目指す。
 ○企業単体の活動のみならず、経済団体等、横のつながりを活用して社会貢献に努める。

切り取り線

切り取り線

【携帯版 「上方発 企業の社会貢献宣言」 の作り方】

1. 用紙サイズを「A4」に指定し印刷します。
2. 「切り取り線」に沿って、切り取ります。
3. 文字が書かれている方を表にして、中央（「山折り線①」）で山折りにします。
4. 文字が書かれていない方に糊を塗り、貼り合わせます。
 （Aの裏側がBに、Dの裏側がCになるように貼り合わせます。）
5. 表題の「上方発 企業の社会貢献宣言」（AとD）を表にして、再度、中央（「山折り線②」）で山折りにします。
 ～以上で完成となります。～